

江津高校 × 江津工業高校 × 江津清和養護学校 高校生フリーペーパー

# あ お は る

52HEROES

vol. 18

2023.11

Free paper for  
students, parents and  
local people

Publisher: GOTSU CONSORTIUM

Edit: TEGONET-IWAMI

Design: D52



photo 校舎内での談笑風景 (弓道部・ボート部・生活科学部)

地域の学びを通して輝かせる自分の原石  
～自分のペースで、自分の個性で～

## 島根県立江津高等学校

〒695-0021 島根県江津市都野津町 293  
tel.0855-53-0553(代)  
https://www.gohtsu.ed.jp/



### 少しの失敗なんて怖くない！

2年生 村山 こはる (青陵中学校卒) / 地域活性部

イベント企画で身についた、『行動力』と『勇気』

1年生のときに先輩が学校でカフェのイベントを開催したのを見て、「学校でこんな特別な体験ができるんだ！自分もやってみよう！」と思ったことをきっかけに、今年の夏の江津高校オープンスクールでは自分から友人達に呼び掛けて、中学生向けに手作りのお菓子や美術部の作品を楽しんでもらう『人麻呂カフェ』を企画・運営しました。自分が中心となってイベントを企画するのは初めてだったので戸惑うことも多かったのですが、『勇気をもって行動できる力』が付きました。中学生の頃の私は責任を持つことが苦手な人に頼ってばかりでしたが、高校に入学して様々なことにチャレンジしたことで、少しの失敗は怖くないと思えるようになりました。中学生のみならず、経験したことがないことも挑戦してほしいです。特に地域に出ると必ず良い発見があるので、中学生や高校生のうちにたくさんチャレンジすることをすすめています。



オープンスクールでの「人麻呂カフェ」

### 少しの勇気が大きな自信に！

2年生 中本 蒼汐 (青陵中学校卒)

何事もやってみないとわからない

中学生の頃は普通の学生で、ボランティアは楽しくなさそう。面倒くさいという印象があったのですが、高校2年生の時に友人の誘いでイベントの運営ボランティアに初めてチャレンジしました。そこでは、子供向けに食べ物を買ったりレジをしたりしました。小さな子どもたちが喜ぶ姿を見て、とても嬉しい気持ちになりました。また、地域のひととの触れ合いでコミュニケーション能力が上がったと感じ、自信にも繋がりました。最初は、『失敗したらどうしよう』、『邪魔にならないかな』という『不安』な気持ちがあったのですが、それは『楽しかった』という思いに変わりました。また、いろんな人が関わってイベントが作られているのを知り、より責任感を持てるようになり、今ではリーダーとしてイベントの企画にチャレンジしてみても良いかと思っています。



### ボランティアで自分が変わった！

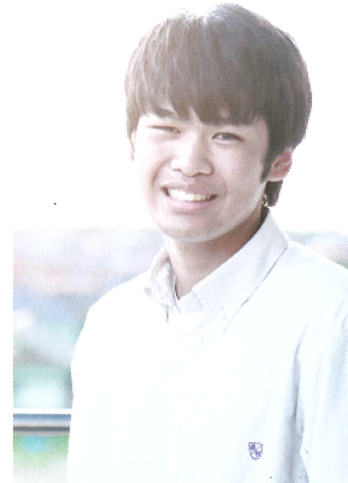
2年生 仲津 聖也 (青陵中学校卒) / 男子ハンドボール部

行動することの大切さ

中学生の頃もボランティアのできる機会があり、人の役に立ちたいと思っていたので興味はあったのですが、行動には移せませんでした。高校2年生の時にイベントの運営として初めてボランティアにチャレンジをすることができ、ボランティアは「感謝」に直結することで、自信にも繋がると実感しました。また、何事も誰かに先を越されないように率先して行うように変わりました。中学生の自分には、「人任せにすることはなく、人のためにできることをやろうね」と言ってもらいたいです。



「小学生のお仕事体験イベント」でボランティアに参加



“ものじゃない、なりたい自分をつくるんだ”

## 島根県立江津工業高等学校

〒695-0011 島根県江津市江津町1477  
tel.0855-52-2120  
https://www.gotsu-th.ed.jp/



### 弓道と資格取得へ 両立に挑戦した1年間

建築・電気科3年生 日熊 思月  
(日原中学校卒)  
弓道部

常に挑戦したいなと思っていて、特に3年の1学期は部活動や資格取得と本当に忙しい日々でした。弓道は自分が今までやってきたスポーツの中で一番難しく、日々練習をがんばりました。2級建築施工管理技術検定や技能検定とび3級などの資格にも多く挑戦してきました。

この1学期間は両立が本当に大変で、資格取得の勉強を放課後も休日もしていたので、部活動のほうも納めいくまでできず、限られた時間の中でどう工夫して、どう自分を高められるかを意識するのが大事だとおもいました。

1年の頃から部員と「北海道でライメン」を合言葉にしてインターハイに行こうって言っていたのでそれもみんなのモチベーションになっていました。集団で活動する上で、1年生の時からチーム全員が納得する目標を立てて練習することが大事だと思いました。

大原 生活科学部はイベントに出店したり、ボランティアに参加したりと、地域と関わることが多いし、やりたいと思ったら自由にやらせてもらえる環境があるので楽しいです。

青笹 自由なのは本当にそうで、いろんなことができるのは知っていたけど、本当に自由に活動できました。社会との交流を増やす機会を先生が与えてくれるので、自分のためになる部活動だなと思っています。

大原 その中でも出店の準備が一番楽しいですね。自分たちが準備したのが売れるのも嬉しいし、出店して、江津工業っていう知名度が広がればいいなと思います。

青笹 そうやって江津工業でつくったものをいろんな人に食べてもらって美味しいと思ってもらいたいです。



### 地域との交流も楽しむ “自由”という美味しい時間

建築・電気科2年生 大原 世愛・青笹 詩音 (江津中学校卒)  
生活科学部

高校3年間では部活動を特に頑張りました。高校に入って始めたボートですが、先輩がインターハイに行っているのをみて、もっと頑張りたい、自分もインターハイに行ってみようと思うようになりました。

そこからは毎日練習に参加して、きつい練習に耐えて、体力・忍耐力がついたと感じています。

ボート部は遠征が多くて市外・県外の人たちと交流があつてたくさん知識を知ることができました。インターハイにいくと自分よりも体格のいい人たちがばかりの中で、試合をして結果を残せたので自信にもつながりました。

他の部活動ではできないことがいっぱいできたので、自信を持って社会に出て頑張っていきたいです。



### 高校ボート部での3年間 インターハイへの挑戦と成長

機械・ロボット科3年生 栗原 凜太郎 (江津中学校卒)  
ボート部



# 地域の方々とのかかわりの中で、生きる力をはぐくむ

本校では、地域の人材や地域資源を活用し、児童生徒の学習の充実を図っています。

## 島根県立江津清和養護学校

〒695-0001 島根県江津市渡津町 772 番地

TEL 0855-52-2613

<https://sites.google.com/ict.shimanet.ed.jp/gotsuseiwa/>



### 地域の魅力とは？ ～高等部 総合的な探究の時間～

高等部1年生は、イワミノノチカラの伊藤様、本町歴史的建造物を活かしたまちづくり推進協議会黒川様に協力をいただき、江津本町方面で学習を行いました。

まず、江津本町・石見地域の魅力や歴史まちづくりの取組のお話を伺い、実際に江津本町を歩き、旧江津町役場など歴史的な建造物を見学させていただきました。地域に深く関わる方々から現場でお話を伺うことで、生徒にとってより深い学びにつながったと感じています。

生徒は学習の最後に、「歴史的な建物は壊してしまうと二度と戻らないため、その価値を伝えるためには残すべきだと思うが、残すには様々な課題があることを知った。それでも残していかないと後世に伝えていけないので、残していく術を考えなくてはいけない」と感想を述べていました。

#### 〈地域の方からのアンケートより（一部抜粋）〉

街並みを散策する際、上り坂の前に躊躇していたが、一人の力で登り切った時の笑顔が印象に残っています。小さなことでも一つ一つ着実に実行することが大切です。いろいろな体験の機会を作ることが大事かと感じました。



高等部2年生は、特定非営利活動法人「てごねつと石見」の藤田様と、波子まちづくり活性化協議会の皆様のご協力をいただき、学習を深めました。

事前学習として、リモートで同協議会とパレットごうつの取組について、それぞれ説明を聞かせていただきました。

その後、現地へ行き学習を深めました。パレットごうつでは、少子高齢化の現状から江津を盛り上げるための企画や活動をしている団体を紹介していただいたり、イベントの企画運営について教えていただいたりしました。生徒からは、「パレットごうつを利用して、自分で企画してみたい」との声も聞かれました。

また、同協議会の皆様にご協力いただき、古民家を改修したゲストハウス「波の音・虎の穴」を見学させていただきました。地域に残されたものから新しいものを創り出そうとしておられる姿に、生徒達は感銘を受けていました。

#### 〈地域の方からのアンケートより（一部抜粋）〉

波子のまちづくりの活動に、興味をもって話を聞いてくれたり、しっかりと自分の考えを言ってくれたりしました。



### 地域のことを知ろう

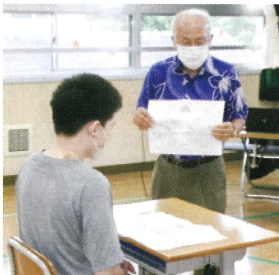
#### ～中学部 総合的な学習の時間～

中学部1年生は、「江津について知ろう」をテーマに、星高山について調べ学習を進めています。書籍などでの調べ学習に加え、星高山隕石会の今井聖造様を招いて、お話をさせていただきました。星高山の歴史にまつわる話、現在行われている登山道作りの経緯からわかる先人の願いやその構想など、多くのことを学びました。

その後、星高山へ実際に行きました。隕石が祀られている「隕石大明神」や、隕石が落ちたとされている池の跡を実際に見てから、星高山隕石会の皆様と登山道作りを体験させていただきました。生徒は慣れない作業に苦戦していましたが、作業を続けるうちに要領をつかみ、スムーズにできるようになりました。特に、仕上げで階段の表面をならす作業は、星高山隕石会の方に褒めてもらえるほどでした。

#### 〈地域の方からのアンケートより（一部抜粋）〉

普段あまり障がいを持つ人と接する機会がありませんでしたが、もっと社会に出る機会を皆で作る必要があると感じました。一緒にできることも多いと思いますので、お声がけください。



GO GOTSUI

NPO 法人てごねつと石見

担当：藤田 / 齋ノ原  
tel : 0855-52-7820 mail : iwami@tegonet.net

GO GOTSUI コンソーシアムは学校を超えて、様々な企業・地域・学校が協働し、お互いがいろんな自分に出会うことができる協働の種を築いています。協働の種が見つかった方はぜひ事務局までご連絡ください。